



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 尾崎敬則  
幹事 村上泰啓 会報委員長 小原一眞

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2325

2017-6-2

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30



Rotary Serving Humanity  
人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

### 本日の例会 6月2日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席  
岡倉(20) 山口(740) 内藤(30)  
南賀(10) 山本(英)(10) 村上(泰)(20)  
三宅(10) 中辻(40) 各会員
- お祝・誕生日  
西谷 大原 武田 各会員  
・結婚記念日  
武田 梅崎 各会員  
・入会記念日  
濱田 三宅 中尾 境 宇津井 各会員  
・会社創立記念日  
光信 佐伯 鈴木 宇津井 中辻 各会員
- 卓話 「親睦・出席委員としての1年」  
各委員の感想発表  
西澤 岡部(倫) 池宮 武田 浅井  
山本(智) 中辻 各会員
- 理事会(新旧合同) 11:00 ~  
次年度理事会 引続き~ 12:10  
シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間
- クラブ協議会(新旧合同) 13:40 ~  
次年度クラブ協議会 引続き~ 15:30  
シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間

### 次週のお知らせ 6月9日(第2例会)

- ガバナー補佐訪問 田中研一ガバナー補佐
- 卓話 「鉄道の安全文化について」  
過去の鉄道事故をふりかえり、どのよう  
に安全文化が育成されて来たかの紹介  
します。  
宇津井隆男会員
- 食膳 <フランス 肉料理>

### 次々週のお知らせ 6月16日(第3例会)

- 新会員自己紹介 宮田正人会員
- 卓話 「更生保護に従事して」 山下健三会員

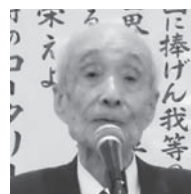
### 先週の記録 5月26日(第4例会)

- 出席報告  
出席会員 38名 (内免除会員 8名)  
会員総数 51名 (同上 17名)  
ゲスト 1名  
ビジター 1名  
計 40名  
ホームクラブ出席率 90.48%  
5月12日(第2例会) 補正出席率 97.83% (MU 2名)
- ゲスト&ビジター(敬称略)  
佐々木恭一(大阪東RC)

### ◆会長の時間◆

今日は、我がクラブの48周年記念例会です。今日この日を迎えることができたのは、ひとえに、先輩会員の皆様をはじめ会員の皆様のおかげです。そして、今日の料理は、皆様に感謝し、この記念例会のために、小林SAAが、特別料理をとホテルに申し出ていただいたものです。いかがだったでしょうか。さて、先週まで、我がクラブの歴史の内、30周年までのお話をさせていただきましたが、当時と現在のクラブとの違いは、まず、なんといっても、会員数です。30周年記念行事の頃、我がクラブの構成員は82名でした。これに対し、現在は51名と31名も減です。また、平均年齢は、30周年当時は60歳と、還暦の年でしたが、現在は、68.19歳と古希が近くなってきています。しかも現在の会員の構成割合を見ますと、60歳代が一番多く15名、70歳代12名、80歳代10名、50歳代8名、90歳と40歳代各3名という状況です。いわゆる人数の減少と高齢化、日本の社会の縮図でもあります。私どもの任期もあと一月あまりとなりました。会員の皆様のおかげで、なんとかここまでやってきました。ありがとうございます。会員の皆様におかれましては、これまで同様、ご支援、ご協力いただきますよう、よろしく願います。

### ◆3分間情報◆



「四つのテスト」

西村五郎会員  
シカゴのハーバート・テラー氏が1937年の世界恐慌の最中に、或るアルミニウムの会社の再建を依頼された。この会社を再建させるには、会社の中に他

6月はロータリー親睦活動月間です!!

## <4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

社にない何かを育成しなければならないと考え、「社員の人格と奉仕の心」を選びました。その人格と奉仕の心の育成の指針とし、全従業員が使えるような倫理上の尺度として作られたのが四つのテストです。以後、この会社は誇大広告もせず事実を示して顧客の信頼を深め、信頼と好意が顧客や従業員に根づいて会社の業績が次第に回復してきた。この四つのテストは日常の商取引、産業活動におけるその人の言行の自己評価のためのテスト形式の規準として導入されたものです。1943年RIは正式にこの四つのテストを採択し、1951年ハーバート氏RI会長の時、その著作権がRIに寄贈された。職業奉仕の理念を端的に表すものとして出版されています。

### ◆ 幹事報告 ◆

- 大阪イブニングRCの末吉会長及び奥IMロータリーデー実行委員長より、IM8組ロータリーデー参加に対しましてお礼状が届いておりますので、ご報告致します。
- 2017年6月のロータリーレートは、1ドル=110円と地区より連絡がありましたのでお知らせ致します。

### ◆ 委員会報告 ◆

#### •ご寄付について

R財団・米山奨学委員長 南賀勝之  
奥田会員、中辻会員、西谷会員、山本(智)会員  
よりご寄付いただきました。

#### •お礼状

国際奉仕委員長 西谷雅之  
豊原北區RCからお礼状が届いております。

びを感じ、クラブライフを楽しむことが大切であると思います。そして会員増強については、量より質を重んじることが大切だと思います。

そして、会員一人一人が魅力のあるクラブ作りをしようとするのが重要であると思います。魅力あるクラブとは、卓話が充実していて、そして出席して良かった、あるいはまた出席したいと思える卓話プログラムを組むことが大切であると思います。

### 運命好転十二条 小林正観

私たちは生まれる前に自分で「人生のシナリオ」を書いてきたようなのです。

そのシナリオのとおり人生が展開していくので、初めから運命というものは決まっています。

「私は運が悪い」と言ったとすると、その人は言った瞬間にこれからもずっと「運が悪い人」になってしまうのです。

つまり、自分が「運」をどのように認識するかによって、今までのこと、現在、未来のことが全部「運」が良かったり、悪かったりに変化します。

「私は運がいい」と思った瞬間に運命は好転する。「運命好転十二条」の各項目を日常的に実践し始めたとします。

そうすると自分の中に「何か日常的にツイている」「自分は運が良くなったと思える」というような手応えが感じられるに違いありません。

そう思ったときこそが、「運命」を好転させた瞬間です。



▲ロータリー財団より表彰  
マルチプル・ボール・ハリスフェロー 三木会員

## 卓話

5月26日 <第4例会>

### 「私にとってのロータリーとは」



境 高彦会員  
本日は前半を「私にとってのロータリーとは」の話をします。

そして後半は「運命好転」の話をします。

私のロータリー入会は1985年の6月ですから、今年で32年目になります。岡部PGと同期入会でした。

私は、ロータリークラブは勉強の場と捉えています。まず、自分より立派な人に会える機会があり、素晴らしい話を聞くことができ、また卓話という私を理解してもらえる話をする機会が与えられています。

ロータリーは奉仕団体でも寄付団体でもない、個人が奉仕をすることに意義があると思っています。

すべての人と親しく付き合えるのが最大の喜びであり、職業、地位、思想、年代を異にし、洗練された社会性を備えた人達ばかりの集まりであり、そこに自ずと和やかな秩序が生まれます。これがロータリーだと思います。

格調の高いクラブを志向し、会員同士の啓発に喜

## にここ箱

5月26日(第4例会)

- 48周年記念例会おめでとうございます。先輩ロータリアンの皆様に感謝します。これからもどうぞよろしくご指導ください。  
尾崎会員
- 中辻さん、お世話になります。  
南賀会員
- 光信先生、ご指導ありがとうございました。  
武田会員
- その他、早退お詫び 3件

5月にここ合計 147,648円  
ハット合計 41,000円

(編集担当 小原・武田)

会員増強にご協力を!!